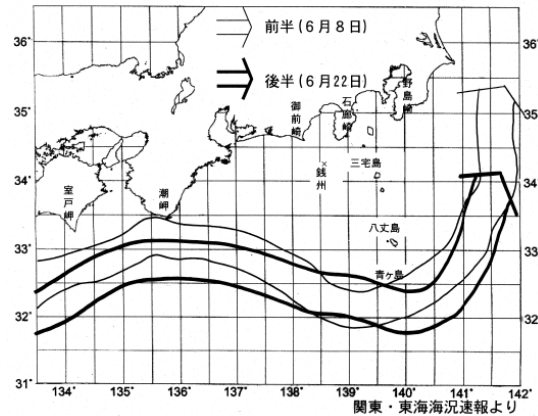


# 漁海況月報

平成 28 年 6 月 1 日

No. 6 ~6 月 30 日

静岡県水産技術研究所  
(電話 054-627-1815)  
静岡県水産術研究所 伊豆分場  
(電話 0558-22-0835)

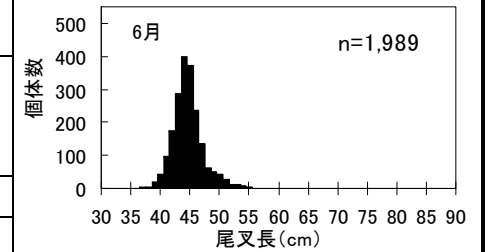


6 月定地水温の旬平均値 (°C) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	20.3	21.0	20.4	21.0	21.1	21.3
	0.5	1.9	1.0	0.5	0.5	0.8
中旬	21.1	22.1	21.3	21.7	22.6	22.0
	0.6	2.6	1.5	0.5	1.1	0.9
下旬	22.2	21.4	20.5	21.9	22.7	22.8
	1.0	0.8	-0.2	-0.3	0.5	1.0
月	21.2	21.5	20.7	21.5	22.1	22.0
	0.7	1.8	0.7	0.2	0.7	0.8

竿釣り (近海+沿岸船) カツオ水揚量 (県内主要 5 港)

期間	水揚量 (トン)	水揚隻数	平均水揚量/隻 (トン)	平均単価 (円/kg)
28 年 6 月上旬	50	25	2.0	586
中旬	48	15	3.2	549
下旬	52	19	2.7	198
28 年 6 月計	150	59	2.5	439
27 年 6 月計	154	35	4.4	372
26 年 6 月計	194	47	4.1	305



御前崎港における測定結果

## 【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網 7 か統 (伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津) の水揚量は 475 トンで前年の同漁場の水揚量 (263 トン) の 1.8 倍であった。また、1 か統あたりの水揚量は 67.8 トンで前年 (37.6 トン) の 1.8 倍、平年 (昭和 57~平成 27 年の平均 61.0 トン) の 1.1 倍であった。

7 か統の魚種別水揚量は、カタクチイワシ、マルソウダ、マイワシ、シイラ、さば類の順に多かった。カタクチイワシの水揚量 166.0 トンのうち、古網漁場が 51% (84.2 トン)、伊豆山漁場が 16% (26.9 トン) を占めた。マルソウダの水揚量 108.8 トンのうち、川奈、古網漁場がそれぞれ 38% (各 41.9 トン、41.0 トン)、谷津漁場が 16% (17.6 トン) を占めた。マイワシの水揚量 74.9 トンのうち、古網漁場が 38% (28.8 トン)、北川漁場が 29% (21.7 トン) を占めた。シイラの水揚量 33.3 トンのうち、川奈、伊豆山、古網漁場がそれぞれ 21% (各 7.1 トン、7.0 トン、6.9 トン)、赤沢漁場が 13% (4.5 トン) を占めた。さば類の水揚量 32.1 トンのうち、北川漁場が 32% (10.1 トン)、赤沢漁場が 16% (5.3 トン) を占めた。

なお、カタクチイワシは前年比 4.1 倍、平年比 3.3 倍、マルソウダは前年比 3.0 倍、平年比 2.4 倍、マイワシは前年比 2496.0 倍、平年比 2.5 倍と、前年、平年を上回る好調な漁獲であった。なお、マイワシの漁獲サイズは、11~13 cm の小羽主体であった。一方、さば類は前年比 0.8 倍、平年比 0.3 倍、マアジは前年比 0.3 倍、平年比 0.1 倍と、低調な漁獲であった。なお、マアジの漁獲サイズは、10 cm 以下 (0 歳)、15~17 cm の (0~1 歳)、18~26 cm (1~2 歳) であった。

漁場別の水揚量では、古網漁場が 173.8 トン (カタクチイワシ、マルソウダ、マイワシ)、川奈漁場が 85.5 トン (マルソウダ、カタクチイワシ、シイラ) の順に多かった。

<参考表> 多獲された魚種の漁獲量と主な漁場

魚種	漁獲量 (トン)	前年比	平年比	主な漁場
カタクチイワシ	166.0	4.1	3.3	古網、伊豆山、川奈
マルソウダ	108.8	3.0	2.4	川奈、古網、谷津
マイワシ	74.9	2,496.0	2.5	古網、北川、伊豆山
シイラ	33.3	0.8	1.6	川奈、伊豆山、古網、赤沢
さば類	32.1	0.8	0.3	北川、赤沢、富戸

## 【黒潮流路】

6 月前半は C 型で潮岬に接岸したのち、遠州灘沖の北緯 33° 付近から南東に進み、北緯 32° 東経 139° 付近まで南下した後、北緯 33° 付近までは北東に、その後は北に進んで房総半島からは離岸して流去した。

6 月後半も C 型で、潮岬からは前半より若干 離岸傾向となり遠州灘沖北緯 32° 30' 付近から東南東に進み北緯 32° 東経 140° 付近まで南下した後、北北東に進み房総半島からは離岸して流去した。

## 【県下沿岸域】

6 月の上旬から中旬は、相模湾側の稲取では、「高め」~「極めて高め」であったが、相模湾側の伊東、下田、並びに駿河湾側では、「やや高め」であった。下旬は、すべての観測点で「平年並み」から「やや高め」であった。

## 【竿釣カツオ】

6 月の県内主要 5 港 (沼津、清水、焼津、小川、御前崎) における近海カツオ水揚量は 150 トンで、前年同期の 97% であった。水揚げの全量が沿岸船によるもので、近海船の水揚げはなかった。平均単価は 439 円/kg で前年同期を上回った。

漁場は 33~34° N、138~140° E の伊豆諸島北部から駿河湾沖、遠州灘沖などで、銘柄「小」(尾叉長 44 cm モード) を主体に漁獲した。

**【サバ棒受網】**

小川港にはゴマサバが985トン(前年同月比106%)水揚げされ、1隻あたり水揚量は29.0トン(前年同月25.9トン)であった。1kgあたり平均単価は92円で前月(98円)を下回ったが、前年同月(84円)を上回った。マサバの水揚げは無かった。

月を通じて三本と三宅に漁場が形成された。漁獲され、ゴマサバは30cmにモードを持つ2歳魚主体であった。

小川港 さば類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚 日数	水揚 隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
28年6月上旬	-	459	5	16	-	28.7	-	92	三本、三宅
中旬	-	295	4	11	-	26.8	-	94	三本、三宅
下旬	-	231	3	7	-	33.0	-	89	三本、三宅
28年6月計	-	985	12	34	-	29.0	-	92	三本、三宅
27年6月	0	932	14	36	0	25.9	108	84	三宅、三本
26年6月	8	1,005	12	39	0.2	25.8	165	85	三本

\*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

**【サクラエビ船曳網】**

平成28年6月の出漁日数は2日、水揚量は59.1トン、1日1か統あたりの漁獲量は492kgであり、3日夜の操業で終漁となった(昨年同月の操業実績無し)。

主な漁場は、富士川沖～三保沖、焼津沖～相良沖に形成された。水揚げされたサクラエビの体長組成は、37～38mm付近にモードを持つ群れで構成されていた。

サクラエビ水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	1日1か統当り 平均漁獲量(kg)	漁 場
平成28年6月上旬	59.1	2	492	富士川沖～三保沖 焼津沖～相良沖
平成28年6月 計	59.1	2	492	
平成27年6月 計	-	-	-	-
平成26年6月 計	113.9	3	633	焼津・大井川沖
平成25年6月 計	93.7	3	520	富士川沖～三保沖 焼津～大井川沖

\* 水揚量は、旬ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

**【シラス船曳網】**

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾(静岡、吉田)が166kg、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が248kgであった。主要6港平均の1日1か統当りの水揚量は206kgと前年同期(992kg)の21%、平年同期(過去5か年平均:550kg)の37%と前年同期、平年同期を下回った。また、主要6港全体の総水揚量は233.5トンで前年同期(2,603.2トン)の9%、平年同期(975.1トン)の24%と、前年同期、平年同期ともに下回った。平均単価は877円/kgと、前年同期(377円/kg)、平年同期(502円/kg)

を上回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量 (トン)	延日数	延統数	平均漁獲量(kg/統)	平均単価(円/kg)
新居	16.2	7	65	250	717
舞阪	57.7	7	211	274	836
福田	28.4	8	160	177	814
御前崎	35.3	11	120	294	758
吉田	36.0	14	260	139	903
静岡	59.8	15	319	188	1,045
平成28年6月計	233.5	62	1,135	206	877
平成27年6月計	2,603.2	116	2,624	992	377
平成26年6月計	544.3	73	1,287	423	382

\*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

\*平年同期:過去5か年(平成23～27年)平均値

**【まき網】**

マイワシの水揚げは小川港では27.8トンで、平年同期(11.3トン)の2.5倍、昨年同期(1.0トン)の27.8倍であった。沼津港では487.1トンで、平年同期(13.3トン)の36.7倍、昨年同期(11.0トン)の44.2倍であった。静岡港のマイワシの水揚げは無く(平年同期0.11トン、昨年同期0.2トン)、伊東港では3.1トンで、平年同期(61.8トン)の5.0%であった(昨年同期の水揚げは無かった)。

カタクチイワシの水揚げは、小川港で43.3トン、伊東港で124.7トン、沼津港と静岡港では無かった。伊豆東岸定置網8か統の水揚げは、マイワシが76.1トン、カタクチイワシが174.3トンであった。

\*平年同期:過去5か年(平成23年～27年)平均値

**【調査船駿河丸の動向】**

6月1日	～	6月3日	地先定線観測調査	(3日間)
6月6日			公共用水域水質測定調査	(1日間)
6月7日	～	6月8日	ふぐ稚魚調査(ニューストネット)、サクラエビ卵調査	(2日間)
6月9日	～	6月10日	ふぐ稚魚調査(ニューストネット)、サクラエビ産卵実験調査	(2日間)
6月14日	～	6月15日	伊豆諸島周辺カツオ魚群分布調査	(2日間)
6月20日	～	6月23日	いわし類卵稚仔分布調査(ニューストネット)	(4日間)
6月27日	～	6月28日	いわし類卵稚仔分布調査(ニューストネット)	(2日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海況速報を見ることができます。

